第四講「る・らる」／「る」・「れ」の識別／「す・さす・しむ」／「せ」の識別

る・らる

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
「　・　・　」の**未然**形	る	れ	れ	る	るる	るれ	れよ	下二型
それ以外の**未然**形	らる	られ	られ	らる	らるる	らるれ	られよ	下二型

※「　・　・　」の未然形＝「　」段＋る
　それ以外の未然形　　＝「　」段＋らる

問一　次の二つのグループ（Ⅰ群、Ⅱ群）のうち、Ⅰ群からは、二重傍線部が助動詞「る」では**ない**もの、Ⅱ群からは、波線部が助動詞「らる」では**ない**ものを、それぞれア～エから一つ選べ。

Ⅰ　ア　たまへる　　イ　騒がれむ　　ウ　けしきどらるる　　エ　急がるる

Ⅱ　ア　ながめのみせられて　　イ　仰せられき
　　ウ　心もとながられ　　エ　仰せらるれど

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【意味】

① 受身（～れる・～られる）
② 可能（～できる）
③ 自発（自然と～される）
④ 尊敬（～なさる・お～になる）

〈見分け方〉

① 受身＝「～に」がある。もしくは補える。
② 可能＝る・らる＋「　　　　」
③ 自発＝［「　　　」動詞　or　「　　　」動詞］＋る・らる
④ 尊敬＝**主語が貴人**～＋る・らる

尊敬語
給ふ＝［（ら）れ］
「　　　」
←
「　　　」か「　　　」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔例題一〕　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

① 涙のみすすみてよよと泣かる。

② さこそあらめなど、仰せらるれど、…

③ 限りなく遠く来にけるほども思ひ知らる。

④ 馬は、かならず人に乗らるべき器にて候へば、…

⑤ なかなかにいも寝られず、「これは夢か」とのみ…

⑥ 御簾の吹き上げらるるを、人々押へて、

問二　「よからぬものの世のたとひとか聞きしと思し出でられて」に用いられている助動詞をすべて抜き出し、それぞれの終止形と文法的意味を答えなさい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「る」・「れ」の識別

【識別対象】

1　「　　」「　　」「　　」「　　」の助動詞「る」
2　「　　」「　　」「　　」の助動詞「り」
3　活用語の一部

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
	る	**れ**	**れ**	**る**	るる	るれ	れよ	下二型
	り	ら	り	り	**る**	**れ**	**れ**	**ラ変**型

〈見分け方〉＝「　　」の「　　」

1　「　　」＋る・れ→助動詞「る」
2　「　　」＋る・れ→助動詞「り」⇩※上が「　　」と「　　」の時、注意！
3　「　　」＋る・れ→活用語の一部

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　「松の木の枯れて朽ち残れるが立てる下に、…」の傍線「る」の文法的意味・用法と同じものを、次のうちから一つ選べ。

1　うららに照れる春日にひばりあがり心悲しもひとりし思へば
2　うつくしきもの、瓜にかきたるちごの顔
3　いかめしき御堂ども建てて、多くの人なむ造り営み侍るめる
4　家の造りやうは夏をむねとすべし、冬はいかなる所にも住まる
5　明けぬれば暮るるものとは知りながらなほうらめしきあさぼらけかな

問四　「心の苦しみを知れれば、…」の波線部の文法的意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

1　受身　2　自発　3　可能　4　存続
5　推量　6　当然　7　意志　8　否定

問五　「しばしはここかしこもとむれども、…」の二重傍線部の文法的説明として最も適切なものを、次の中から一つ選べ。

1　動詞の活用語尾　2　受身の助動詞　3　自発の助動詞
4　尊敬の助動詞　5　完了の助動詞

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

す・さす・しむ

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
「　・　・　」の**未然**形	す	せ	せ	す	する	すれ	せよ	下二型
それ以外の**未然**形	さす	させ	させ	さす	さする	さすれ	させよ	下二型
未然形	しむ	しめ	しめ	しむ	しむる	しむれ	しめよ	下二型

※「四段・ナ変・ラ変」の未然形＝「　」段＋す
　それ以外の未然形　　　　＝「　」段＋さす

【意味】

① 使役（～せる・～させる）
② 尊敬（～なさる・お～になる）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈見分け方〉＝「　　　　」を見る。

「　　」＝す　さす　しむ＝「　　又は　　」

＋「　　　　」

ない ← → ある

「　　」＝給ふ　おはす（おはします）　らる

※真下に尊敬語がある場合→「　　　　」を確認

「人に」「人をやりて」「人を召して」「人に命じて」「人して（＝に命じて）」がある→「　　　　」

「人に」が補える→「　　　　」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔例題二〕　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

①　書きたるを御覧ありて、大いに笑はせおはしまして、…

②　それを、張らせてまゐらせむとするを、

③　御供なる右近大夫を召して、点しつけさせたまふ。

④　皇后宮聞かせ給ひて、いみじう喜ばせ給ふを、…

⑤　心にくき限りの女房、四五人ばかり候はせ給ひて…

※候ふ＝お仕えする

問六　次の波線部の文法上の意味として最も適切なものを、後の中から選べ。

「僧達近う候ひて、御念仏をして聞かせ奉る。」

ア　命令　　イ　断定　　ウ　当然　　エ　意志　　オ　推量　　カ　完了

キ　伝聞　　ク　使役　　ケ　尊敬　　コ　禁止　　サ　過去

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「せ」の識別

【識別対象】

1　使役・尊敬の助動詞「す」の「　　　」形か「　　　」形
2　過去の助動詞「き」の「　　　」形
3　サ変動詞「す」の「　　　」形

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
四段・ナ変・ラ変の未然形	す	**せ**	**せ**	す	する	すれ	せよ	下二型
連用形	き	**せ**	○	き	し	しか	○	特殊型
	動詞「す」	**せ**	し	す	する	すれ	せよ	

〈見分け方〉

1　上が「　　　」形（「　　」段）＝助動詞「す」
2　「～**せ**　　　～　　　」の「**せ**」＝助動詞「き」
3　「　　　　　」と訳せる「せ」＝サ変

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈例題三〉　次の傍線部の文法的説明として、最も適当なものを後の選択肢の中からそれぞれ選べ。（重複使用可）

① いかさまにせむと沈み臥したまへるに…

② とらへてよませける。

③ 夢と知りせば覚めざらましを

④ 源氏の物語、人に読ませ給ひつつ…

ア　使役の助動詞「す」　　イ　尊敬の助動詞「す」

ウ　過去の助動詞「き」　　エ　サ行変格活用動詞「す」

①＝　　②＝　　③＝　　④＝

問七　「世なりせば。」の波線部について、文法的に説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第四講　「る・らる」／「る」・「れ」の識別／「す・さす・しむ」／「せ」の識別

① 「思ひ知らるる事も侍り」の傍線部の文法上の意味として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　尊敬　　イ　完了　　ウ　自発　　エ　使役　　オ　可能　　カ　過去

② 「上（かみ）のその道を得たまへれば、…」の波線の助動詞の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

1　可能　　2　受身　　3　完了　　4　使役
5　尊敬　　6　自発　　7　婉曲

③ 「絵に描（か）ける御姿のおはするは、…」の二重傍線部の助動詞の文法上の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

1　受身　　2　可能　　3　尊敬　　4　打消
5　存続　　6　意志　　7　婉曲　　8　命令

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④「生けるがごとし」の「る」と文法上同じものはどれか。最も適切なものを次の中から選べ。

1　めづらしき事をきこゆるものかな
2　よろづの遊びをぞしける
3　なほ奥つ方に生ひ出でたる人
4　うららに照れる春日にひばり上がり
5　我が身ひとつに限るべき事かな

⑤「この御堂造立の故に、地獄に落ちさせ給はん事こそ、あさましく侍れ」の傍線部の文法上の意味として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　尊敬　イ　完了　ウ　自発　エ　使役　オ　可能　カ　過去

⑥「竟宴（きやうえん）といふこと、春日殿（かすがどの）にて行はせたまふ。」の波線部の助動詞の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

1　可能　2　受身　3　完了　4　使役
5　尊敬　6　自発　7　婉曲

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講　模範解答

〈例題一〉　①　自発　②　尊敬　③　自発　④　受身　⑤　可能　⑥　受身

〈例題二〉　①　尊敬　②　使役　③　使役　④　尊敬　⑤　使役

〈例題三〉　①　エ　②　ア　③　ウ　④　ア

問一　Ⅰ　ア　Ⅱ　ウ

問二　ぬ…「ず」・打消　し…「き」・過去　られ…「らる」・自発

問三　1

問四　4

問五　1

問六　ク

問七　過去の助動詞「き」の未然形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答　第四講　「る・らる」／「る」・「れ」の識別／「す・さす・しむ」／「せ」の識別

〈解説〉

① 傍線部「るる」は**a段**に付いており、「**る**」の連体形。上が「思ひ知る」で**知覚動詞**。よって「**自発**」の意味。

② 「る・れ」の識別。**上の音**が「へ」で**e段**なので、波線の助動詞は完了「**り**」。よって、正解は3。

③ 「る・れ」の識別。**上の音がe段**。ただし「け」なので、上が「四段動詞の已然形」かどうかを確認。「描く」は四段動詞なので、完了の助動詞「**り**」。が、選択肢に完了がないので、もう一つの意味の「存続」の5が正解。

④ 「る・れ」の識別。**上の音がe段**。ただし、「**け**」なので、③と同様に、上が「四段動詞の已然形」かどうかは確認すること。「**生く**」は**四段動詞**なので、完了の助動詞「**り**」。上がe段は2と4。2は「けり」の連体形の一部。よって、正解は4。

⑤ 傍線部は、尊敬・使役の助動詞「さす」の連用形。**真下**に**尊敬語**（＝給は）**がある**ので、**上を確認**。「**人に**」**がない**ので**尊敬**。よって、正解はア。

⑥ 「せ」の識別。**上**が**未然形**（＝**a段**）なので、尊敬・使役の助動詞「す」の連用形。**真下**に**尊敬語**（＝たまふ）**がある**ので、**上を確認**。「**人に**」**がない**ので**尊敬**（※「春日殿」は場所）。よって、正解は5。

〈解答〉

① ウ　② 3　③ 5　④ 4　⑤ ア　⑥ 5

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。